

第1回電気通信工事に係る施工管理技術検定に関する検討会
議事概要

- 日 時：平成29年2月8日（水）10：00～12：00
- 場 所：中央合同庁舎2号館 第2会議室A・B
- 出席者（五十音順、敬称略）：
稲田修一、木下誠也、中村英夫、松本隆男

＜本検討会の規約（案）について＞

- ・規約（案）について了承。

＜電気通信工事施工管理に係る技術検定創設のための検討事項について＞

- ・建設業法上の電気通信工事業における建設工事の内容の記載は、ハードに関するものが中心であるが、セキュリティーなどソフトも大事であること、IP通信に関する内容も重要であることに留意すべきとのご指摘があった。
- ・事務局の提案については、この方向で進めることについて了承。

＜技術検定の種目及び技術について＞

- ・電気通信工事に必要な技術としては、ソフトに関する内容も重要なので、試験を行う上で、そのことにも留意すべきとのご指摘があった。
- ・事務局の提案については、この方向で進めることについて了承。

＜試験の科目及び基準について＞

- ・事務局の提案については、この方向で進めることについて了承。

＜受検要件について＞

- ・電気通信主任技術者資格を受検要件に位置づけることは、質の良い技術者を確保する観点からも重要。現状、主任技術者の要件ではない資格の中にも、実態はよく確認する必要があるが、工事担任者など工事に関わる資格もあり、主任技術者の要件を、別途、検討する際には、この取扱いについて検討する必要があることは認識しておくべきとのご指摘があった。
- ・事務局の提案については、この方向で進めることについて了承。

＜検定種目に応じた指定学科について＞

- ・電気工学から、電子工学やソフト中心の情報工学などが新たに生まれた経緯がある。電気工学に関する学科と電気通信工学に関する学科を分けて整理できるのであれば分かりやすい。
- ・事務局の提案については、この方向で進めることについて了承。

＜今後のスケジュールについて＞

- ・次回の開催は4月頃を予定。

以上